

1 本年度の重点教育目標

ねばり強く課題に取り組み、キャリア発達する生徒の育成

2 本年度の取組の重点

① 確かな学力の向上②社会に適応する豊かな人間性の涵養③家庭・地域と連携した教育活動の充実④安心安全な教育環境の整備

※3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
○確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善（ICTの活用等） 教職員研修の充実、働き方改革の継続的な取組による業務改善の推進 	b	<ul style="list-style-type: none"> ICTの効果的な活用を実践し定期的な交流を実施することができた。授業改善を今後も継続したい。 教職員研修及び働き方改革を継続し、教育の質の維持・向上を今後も図りたい。 	A	A	
○社会に適応する豊かな人間性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に寄り添う生徒指導・支援の充実 キャリア教育の充実 	a	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人のわずかな変化も見逃さずに対応してきた。 教育課程にキャリア教育を位置づけて実践することができた。今後も継続したい。 	A	A	
○家庭・地域と連携した教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、HP等を活用した情報発信、関係機関との連携 コミュニティ・スクールの取組を通じた家庭・地域と一体となった学校運営 	a	<ul style="list-style-type: none"> HPのブログの更新を全教職員で行い、閲覧数が昨年度よりもはるかに多くなった。今後も継続したい。 学校行事等の教育活動を学校運営協議会に報告しつつ行うことができた。 	A	A	
○安心安全な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性を踏まえた教育活動の推進 あらゆる危機を想定した組織的な危機管理対応 	a	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性を踏まえた取組を計画的に行うことができた。 様々な危機を想定した組織的な対応を今後も努めていきたい。 	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。